

名称

谷地区活性化協議会

「設立趣意書」

谷地区は、古くは梶山古墳、糸谷古墳群など古墳時代を代表する遺跡が出現し、早くから文化の中心として栄え、先人は、袋川の豊かな水と四季折々にその彩りを変える美しい自然の恩恵を受け、悠久の時代から農耕に励み、生活を築き、歴史を刻み、人びとの心が和らぐ風土・伝統文化を創り上げてきました。

私たちは、そうした先人から受け継いだ多くのかけがえのない財産に感謝しながら、郷土づくりに励み、人々と交流を図り、この谷地区がいつまでも住み続けたいまちとして発展するよう取り組んできました。

そうした中であって、市町村合併により行政区域は拡大しましたが、少子高齢化とともに過疎化が進行し、集落機能が弱まったこと等に伴う農地や水路、山林等の地域資源管理問題、自然・環境問題、防災・防犯など、さまざまな地域課題への対応が求められています。

また、住民の多様化するニーズへの対応、地域活動への参加者の確保、人と人とのつながり、地域の連帯感の強化など地域コミュニティのより一層の活性化が課題となっています。

このような状況の中で、これまでの行政主導から、地域住民が主体となって行政との「協働のまちづくり」を推進していくことが求められています。そして、将来を担う子どもたちが夢と希望をもって健やかに成長し、安心して暮らせるまちをつくり、次世代に引き継いでいかなければなりません。

私たちは、本日ここに、一人ひとりが自ら考え、そして、お互いを尊重し合いながら助け合い、支え合い、地域に共通する課題などの解決方策を話し合いながら実践して地域コミュニティの充実・強化を図り、誰もが安全で安心して心豊かに暮らせることができるまちづくりを推進するため、住民や各種団体から構成する「谷地区活性化協議会」を設立します。